

2026 年 04 月 01 日

【日本産科婦人科学会周産期登録データベースを用いた 産科的肛門括約筋損傷（OASIS）に関する疫学研究】 に対するご協力のお願い

研究代表者 所属 東北大学病院産科 職名 講師
氏名 濱田 裕貴

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（**周産期登録**）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに東北大学病院の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2001 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの間に、日本産科婦人科学会データベース事業における周産期登録参加施設に登録された施設で経膈分娩に至った症例

➤ 施設検索 - 公益社団法人 日本産科婦人科学会 [`uk-margin-remove\(members-web.com\)`](https://uk-margin-remove(members-web.com))

2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 2026-1-342

日本産科婦人科学会の許可番号 197

研究課題名 日本産科婦人科学会周産期登録データベースを用いた産科的肛門括約筋損傷（OASIS）に関する疫学研究

3 研究実施機関

東京慈恵会医科大学 佐村 修、末光 徳匡

昭和大学横浜市北部病院 岡田 義之

東北大学病院 濱田 裕貴

宮崎大学医学部 土井 宏太郎

岡山大学病院 牧 尉太

データ提供機関：公益社団法人 日本産科婦人科学会（周産期登録データベース提供）

4 本研究の意義、目的、方法

私たちは「産科的肛門括約筋損傷 (OASIS)」という、出産のときにお母さんの肛門まわりの筋肉が大きく傷ついてしまう病気について調べています。

この病気になると、出産後も長い間、排便のトラブルなどが続くことがあり、お母さんの生活に影響を与えます。

これまで日本では、この病気がどのくらい起こっているのか、どんな人に起こりやすいのか、あまり詳しく調べられてきませんでした。そこで私たちは、全国の出産を行った施設から集められている「日本産科婦人科学会周産期登録データベース」という情報を使って、以下のようなことを調べます。

- ・ OASIS がどれくらいの割合で起きているのか
- ・ どんなお産の方法や体の特徴が関係しているのか（例えば：赤ちゃんが大きい、分娩に時間がかかった、器具を使ったお産など）
- ・ 分娩年数や地域、病院による違いがあるのか

この研究によって、将来、OASIS を減らすための予防や治療法を考える手助けになります。

5 協力をお願いする内容

この研究では、みなさまの診療情報（妊娠・出産に関する情報）の一部を、すでに登録されているデータベースから利用します。具体的には下記の項目を解析に利用します。

使用する情報は、日本産科婦人科学会から、個人が特定できる情報（氏名・住所など）を除いた状態で提供されます。

そのため、新たに病院に来ていただいたり、特別な検査を受けたり、質問に答えたりしていただく必要はありません。みなさまの日常の診療の中で記録された情報を使わせていただきます。

もし、ご自身の情報を研究に使ってほしくないと思われた場合は、いつでもお申し出いただければ、その方の情報は研究に使用しません。

解析に用いる項目：経妊、経産、不妊治療、喫煙、飲酒、入院時体重、非妊時体重、分娩日時、分娩週数、分娩時年齢、分娩胎位、分娩方法、誘導・陣痛促進、分娩時間、分娩時出血量、胎盤重量、羊水混濁、分娩 CTG 異常、母疾患、妊娠合併症、母処置（会陰裂傷の重症度、OASIS の有無、会陰切開の有無）、母体使用薬剤、母転帰、児胎数、多胎の種類、出生体重、APGAR 値、臍帯動脈 pH、児診断・転帰、児処置

6 本研究の実施期間

西暦 2026 年 04 月 01 日～2027 年 10 月 01 日

7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報すべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者・分担者

東北大学病院 産科 濱田 裕貴

TEL: 022-717-7251

FAX: 022-717-7258

Email: hirotaka.hamada.c8@tohoku.ac.jp